

資料

本市の教育を取り巻く諸課題について

平成27年7月16日

鳥羽市教育委員会

1 児童・生徒数の推移及び特別支援学級

年 度	児童数	支援学級	生徒数	支援学級	合 計	備 考
6	2087	3	1030	1	3117	
7	1995	4	1006	2	3001	
8	1886	5	1042	2	2928	
9	1783	2	1077	5	2860	
10	1689	4	1022	4	2711	
11	1625	6	965	4	2590	
12	1533	6	909	1	2442	
13	1495	7	881	2	2376	
14	1449	7	833	2	2282	
15	1427	8	779	2	2206	
16	1372	8	722	2	2094	
17	1335	8	716	3	2051	
18	1313	9	686	4	1999	
19	1230	9	681	4	1911	小浜小休校
20	1203	8	643	1	1846	
21	1184	8	654	2	1838	坂手小休校
22	1123	7	624	4	1747	国崎小廃校
23	1037	6	619	4	1656	
24	1004	5	588	4	1592	
25	971	6	539	4	1510	鏡浦中廃校
26	914	7	518	5	1432	
27	835	8	511	4	1346	
推 計						
28	809		516		1325	
29	789		466		1255	
30	744		442		1186	
31	704		437		1141	
32	684		436		1120	
33	666		394		1060	

本市における小中学校の児童生徒数は年々減少しています。小学校では、9校中4つの小学校（桃取、神島、菅島、鏡浦）で複式の授業が行われています。児童生徒のいない学年もあります（桃取小、神島中）。

子どもたちの十分な学習環境を確保するため、統合等による適正規模、適正配置に取り組む必要があります。

一方、発達障がい等、特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援学級の設置、支援員の配置に努め、指導・支援の充実を図っています。

2 学力・学習状況について

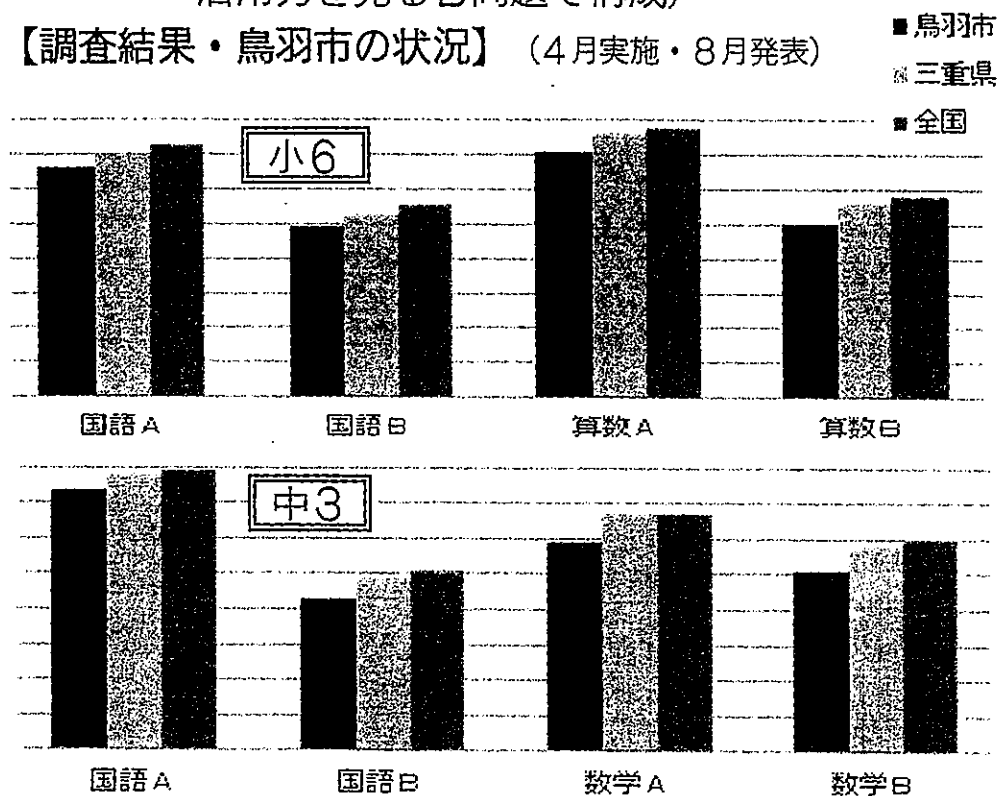
子どもたちに確かな学力を

【全国学力・学習状況調査の結果と教育委員会の取り組み】

調査対象：小学校6年生と中学校3年生

教科：国語と算数・数学（知識の定着を見るA問題と
活用力を見るB問題で構成）

【調査結果・鳥羽市の状況】（4月実施・8月発表）



本市では、どの教科においても県・全国平均を下回っています。

学校では、授業改善の取り組みを通して、応用力をつける工夫をしています。

家庭と連携して基本的な生活習慣を確立するため、「携帯・スマホの安全な利用」を呼びかけています。また、「家庭学習の手引き」の活用を通して、児童生徒が主体的に家庭学習に取り組めるようサポートしています。

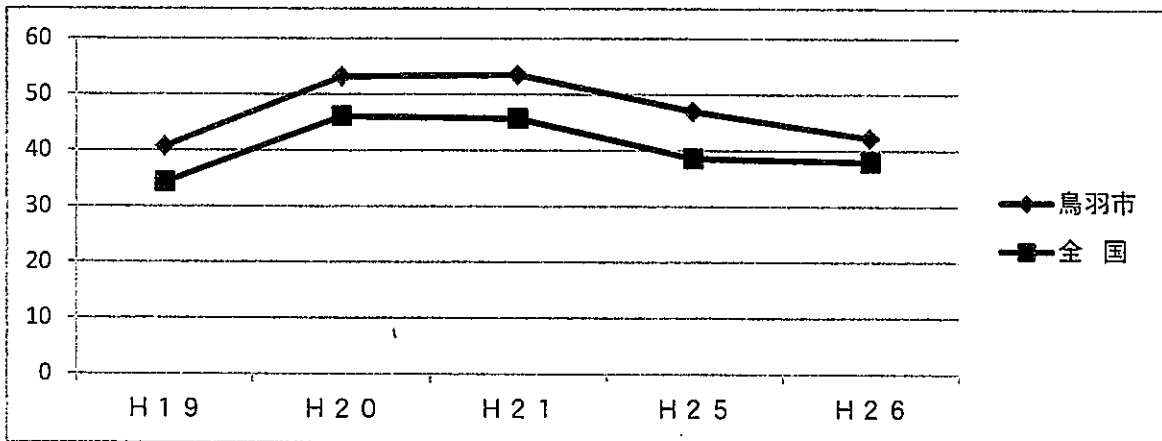
3 質問紙調査（児童生徒用、学校用）から考察する鳥羽市の傾向

<小学校>

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、きいたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）

3時間以上と答えた児童の割合（％）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	40.7	53.2	53.5	47.0	42.2
全国	34.3	46.1	45.7	38.6	38.0

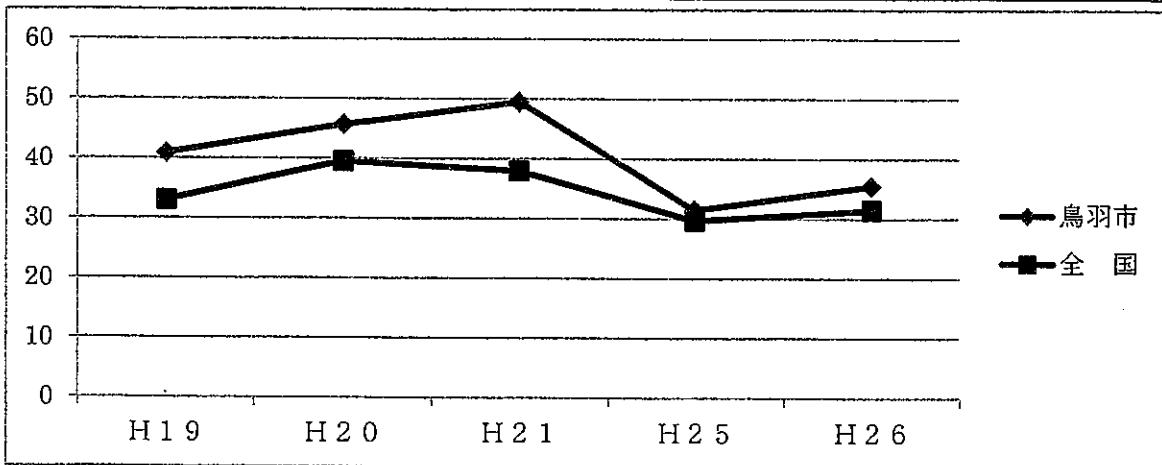


<中学校>

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、きいたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）

3時間以上と答えた生徒の割合（％）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	40.9	45.7	49.5	31.5	35.5
全国	33.1	39.6	38.0	29.7	31.5

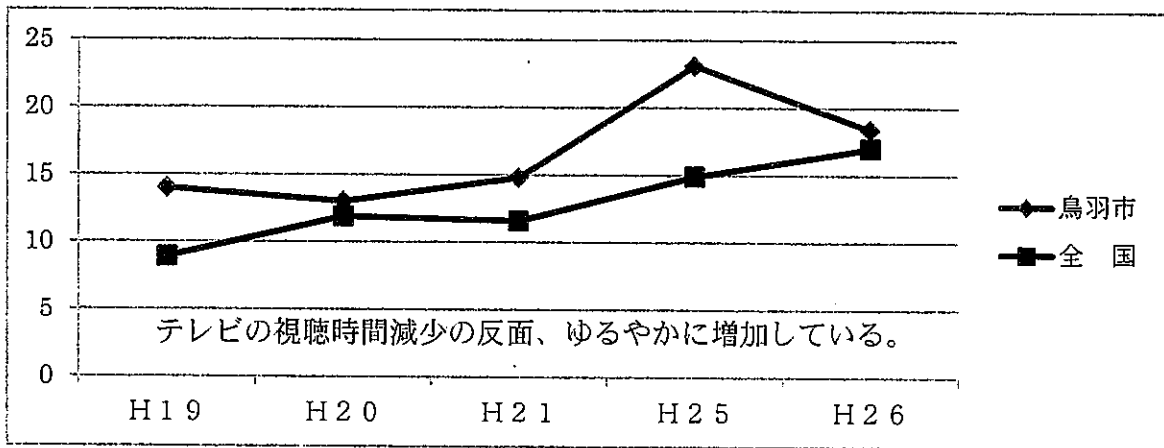


小学校、中学校共に視聴時間は減少しつつあるが、全国よりも依然高い状況である。

<小学校>

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか
3時間以上と答えた児童の割合（%）

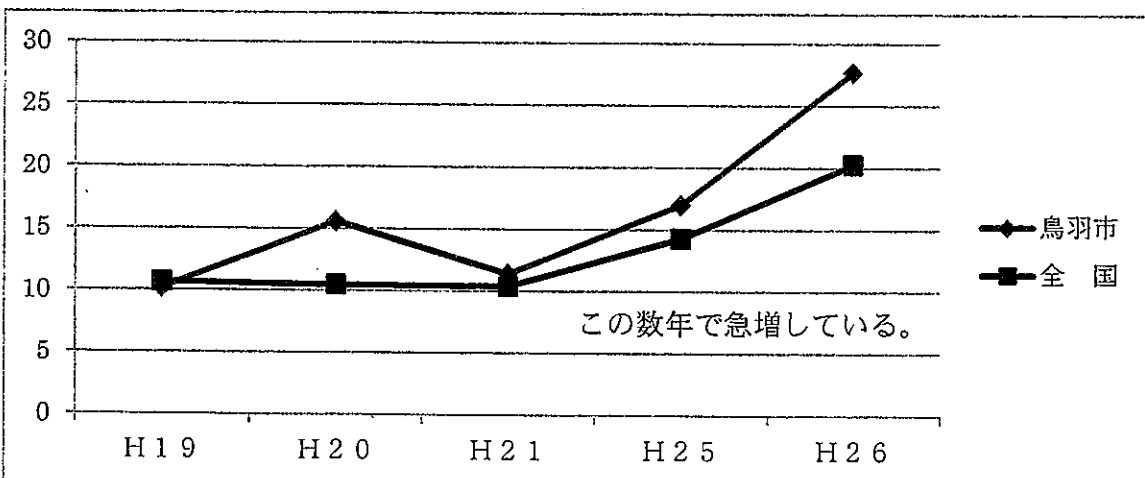
	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	14.0	13.0	14.8	23.1	18.4
全国	8.9	11.9	11.6	14.9	17.0



<中学校>

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか
3時間以上と答えた生徒の割合（%）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	10.2	15.6	11.4	17.0	27.7
全国	10.7	10.5	10.4	14.3	20.3

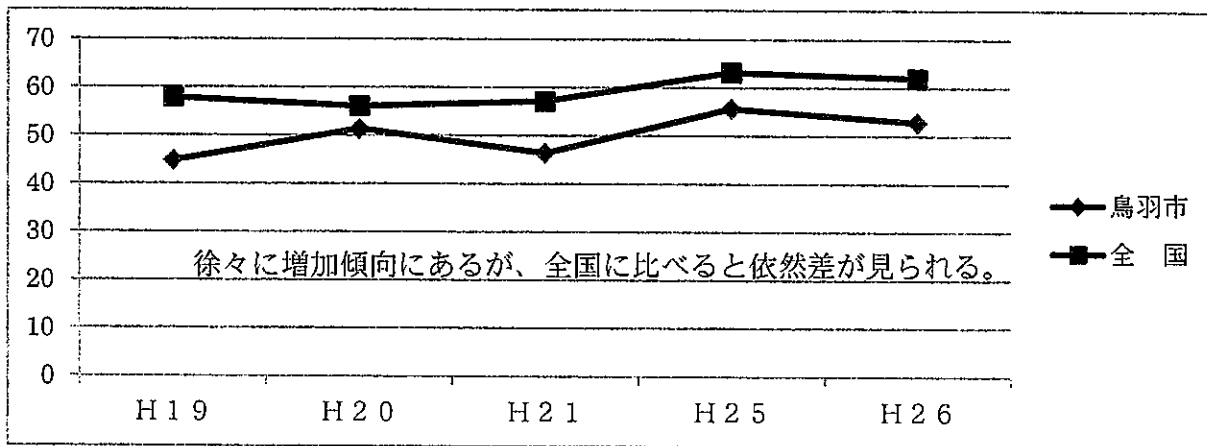


<小学校>

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

1時間以上と答えた児童の割合（％）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	44.8	51.4	46.4	55.7	52.9
全国	57.9	56.1	57.2	63.2	62.0

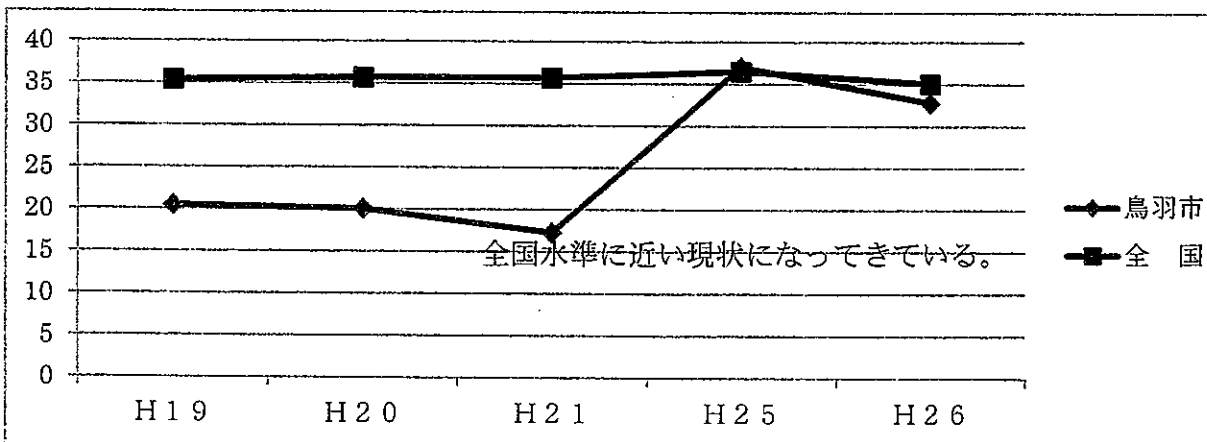


<中学校>

学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

2時間以上と答えた児童の割合（％）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	20.5	20.1	17.3	37.0	32.8
全国	35.4	35.7	35.7	36.5	35.1

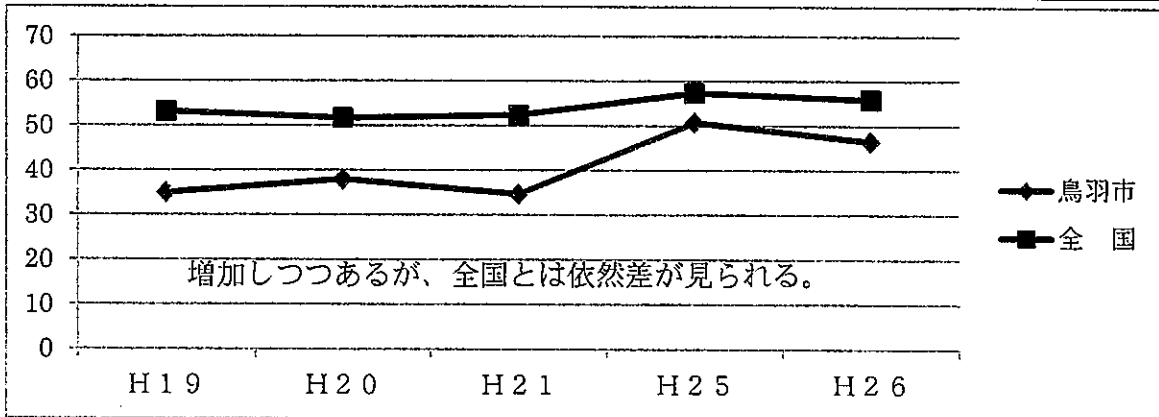


<小学校>

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

1時間以上と答えた児童の割合（％）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	35.0	38.0	34.7	50.7	46.5
全国	53.2	51.7	52.4	57.4	55.9

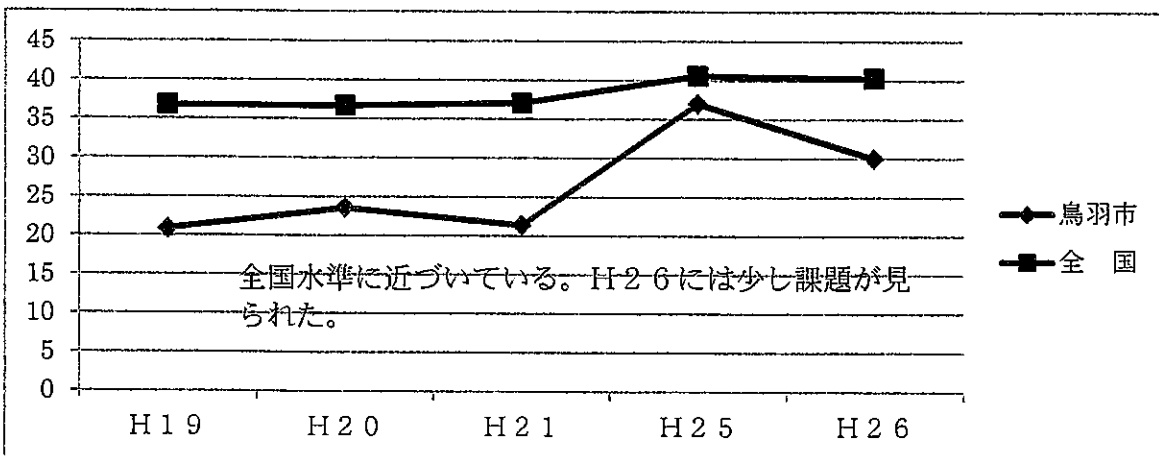


<中学校>

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

2時間以上と答えた生徒の割合（％）

	H19	H20	H21	H25	H26
鳥羽市	20.9	23.6	21.4	37.0	30.0
全国	36.8	36.7	37.1	40.6	40.3



3 体 力

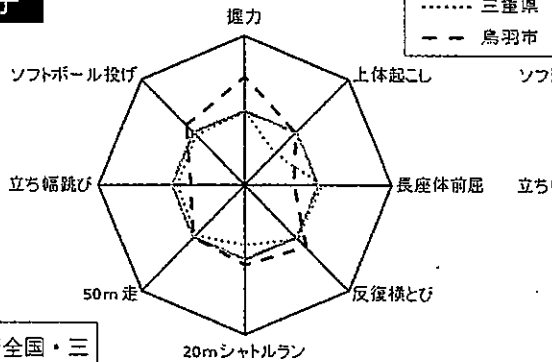
【全国体力・運動能力調査結果より】

実施時期 平成26年1学期

対 象 小学校5年生・中学校2年生

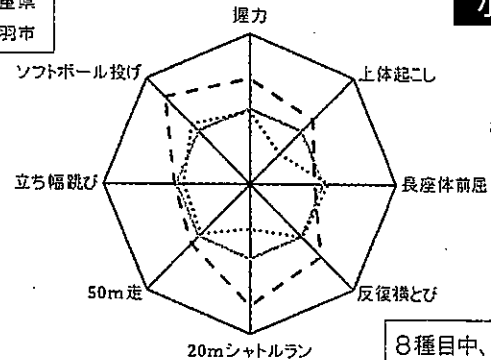
測定種目 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・持久走（中学生のみ）

小学校男子



8種目中、5種目で全国・三重県平均を上回っています。

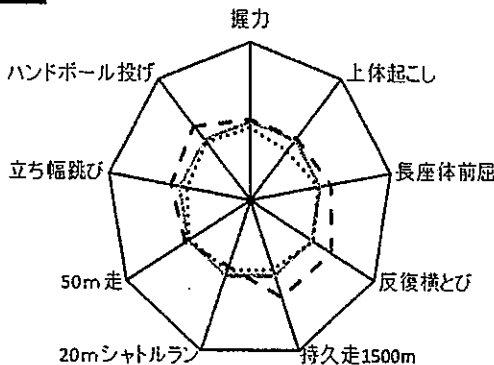
小学校女子



8種目中、7種目で全国・三重県平均を上回っています。

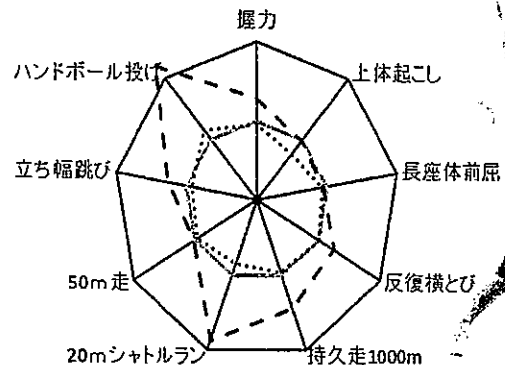
ほぼ全国・県平均を上回っています

中学校男子



9種目中、8種目で全国・三重県平均を上回っています。

中学校女子



9種目中、7種目で全国・三重県平均を上回っています。

本市では、どの学年においても体力合計点では、県・全国平均を上回っています。

これは、体力・運動能力調査を毎年、全学年で実施していることや、子どもが意欲や目標を持って活動できるよう、体育の授業や活動を工夫している成果です。

課題は、長座体前屈（柔軟性）と上体起こし（腹筋）です。

学校では、日々の体育の指導で柔軟性、腹筋を含む体幹力の向上を目指して体力づくり運動に継続的に取り組みます。

4 子どもたちの安全・安心

(1) いじめ問題

事例発生状況等

	H 2 3 年度			H 2 4 年度			H 2 5 年度			H 2 6 年度		
	校数	事例	解消	校数	事例	解消	校数	事例	解消	校数	事例	解消
小学校	0	0	0	4	12	12	4	13	13	3	7	6
中学校	0	0	0	2	8	7	3	4	4	2	2	2
合 計	0	0	0	6	20	19	7	17	17	5	9	8

- ・平成24年度に事例件数が増えたのは、大津市のいじめ事件を受けて、県下一斉のいじめアンケートを行った結果によるもの。
- ・平成25年度以降は、県下一斉いじめアンケートに加え、各小中学校独自に生活アンケートや面談等によって、状況把握、早期発見、早期対応に努めている。
- ・重篤な事例は発生していない。
- ・本年度、現在まで事例発生への報告はない。

本市では、教育委員会と全ての学校でいじめ防止基本方針を策定しています。いじめは決して許されない行為であること。いじめはどの子どもにも、どの学校においても起こりうるものであること。また、だれもが被害者にも加害者にもなりうるとの共通認識のもと、未然防止、早期発見、早期対応に努めています。子どもに関係する機関、団体、有識者等で構成する「鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会」を定期的開催しています。

(2) 学校施設の防災対策

平成17年当時の本市の学校施設の耐震化率は 47% でした。耐震化工事や改築を進めたことにより、現在の耐震化率は 93% となっています。平成27・28年度の神島小中学校建設により耐震化率は100%となります。今後、非構造部材の耐震化を進めていく必要があります。

平成27年7月9日

各学校長 様

鳥羽市教育委員会

教育長 齋藤 陽二

学校における危機管理及び児童生徒の安全確保の徹底について

学期末を迎え、多忙な日々をお過ごしのことと思います。

標記のことについては、各校において常に意識して取り組んでいただいているところです。

しかし、岩手県の中学校では男子生徒が列車にはねられて死亡するという事故、埼玉県の中学校では学校のエレベーターで女子生徒が指を切断するという事故が起きております。岩手県の事故については、いじめを苦にして自殺したと考えられ、「生活記録ノート」にいじめをうかがわせる内容が書き残されていたという報道がなされています。詳細は不明ですが、このような事故が起こってしまったことは非常に残念なことです。担任や学校の対応が厳しく問われています。

つきましては、再度各校において、学校安全計画やいじめ防止基本方針等に基づき危機管理及び児童生徒の安全確保の徹底をお願いします。

児童生徒の様子を観察し、その思いを受け止め、問題を把握したら学校全体で共有した上で組織的な対応をし、問題の解決にあってください。また、事故防止についても、学校の施設設備の点検を始め、安全面への留意をしてください。

学期末の忙しい時期ではありますが、よろしくをお願いします。

5 平成33年第76回国民体育大会フェンシング競技 鳥羽大会の開催

平成33年9月中旬から10月中旬にかけての4日間で、鳥羽市において国民体育大会フェンシング競技が開催されます。

前年の平成32年12月にはリハーサル大会として全日本フェンシング選手権大会（団体戦）が開催されます。

施設整備について 現在の市民体育館は昭和50年の国体開催に合わせて昭和48年に建設されました。

築後42年が経過し、老朽化が進んでいます。

バリアフリー化を含めた、早急な施設整備が必要です。

体制整備について 施設整備計画の策定を始め、国体開催に向けての諸準備を進めるため国体実行委員会等の体制整備が必要です。

6 旧鳥羽小学校の保存活用

旧鳥羽小学校校舎は昭和4（1929）年に鳥羽尋常高等小学校として建設されました。当時は県下で初めての鉄筋コンクリート3階建ての建物で多くの見学者が訪れました。平成に入り、施設の老朽化が目立つ状況となり、一時は立て替えを検討しましたが、県指定の史跡内にあることや、運動場が狭隘であるなどの要因から堅神町へ移転しました。旧校舎は移転後、解体が検討されたが卒業生を中心に保存の請願が出され解体が見送られました。

このような状況から、平成23年度に耐震診断を実施し、平成26年度には保存活用計画の策定を行いました。平成27年度は、どのように活用するのかを中心にした計画を策定します。

今後、計画的に保存活用に向けて作業を進めていきます。